札幌医科大学医学部

アセスメント・マップ

（臨床実習）

令和７年３月２７日　医学部教授会了承

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
消化器内科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験	20	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
	6	レポート																																										
	7	成果発表																																										
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																									
	10	OSCE	20	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ																																										
	13	自己評価																																									
	14	その他 カンファレンスでのプレゼンテーション	60	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
		合計（100%）	100																																									
		目標とする平均点	80点																																									
		再試験の回数	0回																																									
		授業形態	対面授業科目																																									

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
免疫・リウマチ内科学		

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

		Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力				
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
カリキュラム・マップ		A	A	C	A	A	A	B	A	B	A	B	A	A	A	A	A	E	B	B	B	B	A
アセスメント・マップ																							
① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																							
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																							
3 小テスト：筆記試験（記述式）																							
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																							
5 口頭試験	20							a	a	a	a	b	a	a	a	a	b		a	a	a	a	a
6 レポート	30							a	a	a	a	b	a	a	a	a	b		a	a	a	a	a
7 成果発表																							
8 質問紙法																							
9 直接観察法（模型または実際の患者）	40	a	a		a	a	a	b	b	b	b	b	a	a	a	a	a		c	c	c	c	c
10 OSCE	10	c	c		a	c	a	b	b	b	b	b	a	a	a	a	a		b	b	b	b	b
11 監査（オーディット）																							
12 ポートフォリオ																							
13 自己評価																							
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																							
合計（100%）	100																						

		Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ		A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																					
① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																					
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																					
3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
5 口頭試験	20	c	c	c	c	c	c	c	a	c	a										
6 レポート	30						c	c	a	c	a										
7 成果発表																					
8 質問紙法																					
9 直接観察法（模型または実際の患者）	40	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c										
10 OSCE	10	a	a	c																	
11 監査（オーディット）																					
12 ポートフォリオ																					
13 自己評価																					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																					
合計（100%）	100																				

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座		

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																							
評価形式																																										
	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート	15						a	a	a	a	a							a	a	a	a	a					c	c	c	c	c										
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c				
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ	5											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	5	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c				
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									
		合計（100%）	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
呼吸器・アレルギー内科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　／　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																												
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5	口頭試験																																											
6	レポート																																											
7	成果発表																																											
8	質問紙法																																											
9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	a	b	b	c	c	c	c	c	c	c										
10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	a	b	b	c	c															
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ	10												b	b	b	b	b	b						a	b	b	c	c														
13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	a	b	b	c	c	c	c	c	c	c										
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
	合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
腫瘍内科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

			①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
	5	口頭試験																																										
	6	レポート																																										
	7	成果発表																																										
	8	質問紙法																																										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c															
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
血液内科学		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分

凡例			
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法		Ⅰ.プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	Ⅰ-2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	Ⅰ-3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	Ⅰ-4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	Ⅰ-5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	Ⅰ-6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	Ⅱ.医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	Ⅱ-2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	Ⅱ-3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	Ⅱ-4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	Ⅱ-5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	Ⅲ.医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	Ⅲ-2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	Ⅲ-3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	Ⅲ-4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	Ⅲ-5 医療安全、感染症対策を実践できる。	Ⅲ-6 災害時の医療について説明できる。	Ⅳ.問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	Ⅳ-2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	Ⅳ-3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	Ⅳ-4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	Ⅳ-5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	Ⅴ.コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	Ⅴ-2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	Ⅴ-3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	Ⅴ-4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	Ⅴ-5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	Ⅵ.科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	Ⅵ-2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	Ⅵ-3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	Ⅵ-4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	Ⅵ-5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	Ⅶ.地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	Ⅶ-2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	Ⅶ-3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	Ⅶ-4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	Ⅶ-5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	Ⅷ.国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	Ⅷ-2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	Ⅷ-3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	Ⅷ-4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	Ⅷ-5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座		カリキュラム・マップ		A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																											
		①評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
		10 OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c															
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ	10												b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
		13 自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
心臓血管外科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

評価形式			① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	5	口頭試験																																											
	6	レポート	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
整形外科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	B	A	B	A	B	A	B	A	A	A	A	A	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c								
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c								
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
産婦人科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									
		合計（100%）	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
小児科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	B	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	B	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表	10	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	a	a	a	a	a	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	10	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	10	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									
		合計（100%）	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経精神医学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

			①評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
	5	口頭試験																																										
	6	レポート	50							b	a	b	a	c	a	a	a				c	c	c																					
	7	成果発表																																										
	8	質問紙法																																										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	50	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE																																										
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ																																										
	13	自己評価																																										
	14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
総合診療医学講座		カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
	5	口頭試験																																												
	6	レポート																																												
	7	成果発表																																												
	8	質問紙法																																												
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a		a	a		a						a	a	a									a	a		a	a								a						
	10	OSCE																																												
	11	監査（オーディット）																																												
	12	ポートフォリオ	40	c		c	c		c	c	c			c	c	c	c	c	c		c	c	c		c	c	c	c	c	c					c	c	c	c	c						
	13	自己評価																																												
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
		合計（100%）	100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理診断学		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									
		合計（100%）	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
神経内科学講座		カリキュラム・マップ

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
	5	口頭試験																																										
	6	レポート																																										
	7	成果発表																																										
	8	質問紙法																																										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c					
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c													
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c					
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
合計（100%）			100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
眼科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
	5	口頭試験																																												
	6	レポート																																												
	7	成果発表																																												
	8	質問紙法																																												
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c																
	11	監査（オーディット）																																												
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c																
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
		合計（100%）	100																																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名：皮膚科学講座

単位数：

学修成果と評価方法			Ⅰ.プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	Ⅰ-2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	Ⅰ-3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	Ⅰ-4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	Ⅰ-5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	Ⅰ-6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	Ⅱ.医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	Ⅱ-2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	Ⅱ-3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	Ⅱ-4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	Ⅱ-5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	Ⅲ.医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	Ⅲ-2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	Ⅲ-3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	Ⅲ-4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	Ⅲ-5 医療安全、感染症対策を実践できる。	Ⅲ-6 災害時の医療について説明できる。	Ⅳ.問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	Ⅳ-2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	Ⅳ-3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	Ⅳ-4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	Ⅳ-5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	Ⅴ.コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	Ⅴ-2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	Ⅴ-3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	Ⅴ-4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	Ⅴ-5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	Ⅵ.科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	Ⅵ-2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	Ⅵ-3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	Ⅵ-4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	Ⅵ-5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	Ⅶ.地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	Ⅶ-2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	Ⅶ-3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	Ⅶ-4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	Ⅶ-5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	Ⅷ.国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	Ⅷ-2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	Ⅷ-3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	Ⅷ-4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	Ⅷ-5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ			E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	E	B	B	B	B	B	E	E	B	B	B	E	B	B	E	E	B	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																																												
① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	40							a	a	a	a																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10																			a	a	a									a												
5	口頭試験																																											
6	レポート																																											
7	成果発表																																											
8	質問紙法																																											
9	直接観察法（模型または実際の患者）	50												a	a	c	c	a		a					a	a			a															
10	OSCE																																											
11	監査（オーディット）																																											
12	ポートフォリオ																																											
13	自己評価																																											
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）		100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム
1. 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。
2. 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。
3. 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。
4. 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。
5. 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。
6. 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。

II. 医学知識
1. 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。
2. 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。
3. 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。
4. 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。
5. 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。

III. 医療の実践
1. 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。
2. 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。
3. 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。
4. 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。
5. 医療安全、感染症対策を実践できる。
6. 災害時の医療について説明できる。

IV. 問題対応能力
1. 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。
2. 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。
3. 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。
4. 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。
5. 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。

V. コミュニケーション
1. 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。
2. 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。
3. 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。
4. 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。
5. 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。

VI. 科学的探求
1. 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。
2. 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。
3. 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。
4. 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。
5. 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。

VII. 地域医療
1. 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。
2. 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。
3. プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。
4. 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。
5. 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。

VIII. 国際貢献
1. 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2. 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3. 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4. 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。
5. 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ　区分（凡例）

区分		説明
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名： 泌尿器科学講座　**単位数：** 1.5

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

学修成果と評価方法	①評価形式ごとの評価割合（%）	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5	I-6	II-1	II-2	II-3	II-4	II-5	III-1	III-2	III-3	III-4	III-5	III-6	IV-1	IV-2	IV-3	IV-4	IV-5	V-1	V-2	V-3	V-4	V-5	VI-1	VI-2	VI-3	VI-4	VI-5	VII-1	VII-2	VII-3	VII-4	VII-5	VIII-1	VIII-2	VIII-3	VIII-4	VIII-5
カリキュラム・マップ		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90							a	a	a	a	a	a	a	a																												
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5 口頭試験																																											
6 レポート																																											
7 成果発表																																											
8 質問紙法																																											
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
10 OSCE																																											
11 監査（オーディット）																																											
12 ポートフォリオ																																											
13 自己評価																																											
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10							b	b	b	b	b	b	b	b																										
合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

				札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー																																									
				I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
				1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
科目名	単位数	学修成果と評価方法		医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
感染制御・臨床検査医学講座		カリキュラム・マップ		A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																									
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
		5 口頭試験	20																a																										
		6 レポート	20																a																										
		7 成果発表																																									
		8 質問紙法																																									
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	30																							a		a																	
		10 OSCE	10	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c															
		11 監査（オーディット）																																									
		12 ポートフォリオ	10												b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
		13 自己評価	10	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									
		合計（100%）	100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
救急医学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																							
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																								
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																								
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																								
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																								
	5	口頭試験																																								
	6	レポート																																								
	7	成果発表	5												b	b	b	b																									
	8	質問紙法																																								
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c								
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c													
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ	10												b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c													
	13	自己評価	10	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c								
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																								
		合計（100%）	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	る。人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けてい	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
集中治療医学		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	D	B	D	D	C	C	C	C	C
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c								
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c								
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
脳神経外科学講座		カリキュラム・マップ

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																											
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																										
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																										
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
5	口頭試験																																										
6	レポート																																										
7	成果発表																																										
8	質問紙法																																										
9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c													
11	監査（オーディット）																																										
12	ポートフォリオ	10												b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c													
13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
	合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座		カリキュラム・マップ	A	D	A	A	D	A	D	A	A	A	D	A	A	A	A	A	D	A	A	A	A	D	A	A	A	D	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																								
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																						
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																							
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																							
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																							
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																							
	5	口頭試験																																							
	6	レポート																																							
	7	成果発表	25								b	b		b	b	b	b			b	b	b	b							b		b									
	8	質問紙法																																							
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a		a	a		a		a	b	a		a	a	a	a	a		a	c	c	c		c	c	c		c			c		c						
	10	OSCE	15	a		a	a		a		a	b	a		a	a	a	a	a		a	c	c	c		c	c	c		c											
	11	監査（オーディット）																																							
	12	ポートフォリオ																																							
	13	自己評価																																							
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																							
		合計（100%）	100																																						

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
放射線医学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	E	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表																																									
	8	質問紙法																																									
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c														
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									
		合計（100%）	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
放射線診断学		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	B	A	A	B	E	E	A	E	B	E	B	A	B	B	B	A	E	E	E	E	A	B	B	B	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

			① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																										
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																										
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
	5	口頭試験																																										
	6	レポート	70	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c			a		a		a	a	a	a	a	a					a	a	a	a	a									
	7	成果発表	15	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c			c		c		c	c	c	c	c	c					c	c	c	c	c									
	8	質問紙法																																										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																										
	10	OSCE	15	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b			c		c		c	c	c	c	c	c					c	c	c	c	c									
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ																																										
	13	自己評価																																										
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
麻酔科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	B	A	A	B	B	B	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																							
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																								
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																								
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	5							c	a	c	a	b																													
	5	口頭試験																																								
	6	レポート																																								
	7	成果発表																																								
	8	質問紙法																																								
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	80	a	a	a	a	a	a	c	a	c	a	b	a	a	b	b	b	a	b	b	b	b	b	a	a	a	a	a	b	b	b	b	a	b	b	b	b	b	b	b	b	b
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a						a	a	b	b	b	a																							
	11	監査（オーディット）																																									
	12	ポートフォリオ																																								
	13	自己評価																																								
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																								
		合計（100%）	100																																							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
呼吸器外科学		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c															
	11	監査（オーディット）																																												
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
口腔外科学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	D	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E
		アセスメント・マップ																																									
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																							
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																									
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
	5	口頭試験																																									
	6	レポート																																									
	7	成果発表	10												a	a	a	a																										
	8	質問紙法																																										
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c														
	11	監査（オーディット）																																										
	12	ポートフォリオ	10												b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
	13	自己評価	5	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c										
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

区分	No.	コンピテンシー
I. プロフェッショナリズム	1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。
	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。
	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。
	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。
	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。
	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。
II. 医学知識	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。
	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。
	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。
	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。
	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。
III. 医療の実践	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。
	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。
	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。
	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。
	5	医療安全、感染症対策を実践できる。
	6	災害時の医療について説明できる。
IV. 問題対応能力	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。
	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。
	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。
	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。
	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
V. コミュニケーション	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。
	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。
	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。
	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。
	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。
VI. 科学的探求	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。
	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。
	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。
	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。
	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
VII. 地域医療	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。
	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。
	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。
	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。
	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
VIII. 国際貢献	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。
	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

科目名：形成外科学　単位数：

学修成果と評価方法		(%)	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5	I-6	II-1	II-2	II-3	II-4	II-5	III-1	III-2	III-3	III-4	III-5	III-6	IV-1	IV-2	IV-3	IV-4	IV-5	V-1	V-2	V-3	V-4	V-5	VI-1	VI-2	VI-3	VI-4	VI-5	VII-1	VII-2	VII-3	VII-4	VII-5	VIII-1	VIII-2	VIII-3	VIII-4	VIII-5
カリキュラム・マップ			B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
アセスメント・マップ	① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90							a	a	a	a	a	a	a	a																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5	口頭試験																																											
6	レポート																																											
7	成果発表																																											
8	質問紙法																																											
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
10	OSCE																																											
11	監査（オーディット）																																											
12	ポートフォリオ																																											
13	自己評価																																											
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10							b	b	b	b	b	b	b	b																												
合計（100%）		100																																										

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
リハビリテーション医学講座		カリキュラム・マップ

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	C	A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）			②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c					
	10	OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c															
	11	監査（オーディット）																																												
	12	ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
	13	自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c					
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）			100																																										

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践						Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
法医学講座		カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																										
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																								
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																										
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																										
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
		5 口頭試験																																										
		6 レポート																																										
		7 成果発表																																										
		8 質問紙法																																										
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	60	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
		10 OSCE	15	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	c	a	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c															
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ	10											b	b	b	b	b	b						c	c	c	c	c															
		13 自己評価	15	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c									
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
		合計（100%）	100																																									

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目